

仁文



群馬県草津町
 本白根山の噴火で亡くなった陸上自衛隊員に献花し、手を合わせる草津国際スキー場の関係者＝1月30日午前、

象徴のうた

平成という時代

永田 和宏

平成5（1993）年4月、天皇皇后両陛下は、即ち、皇太子ご即位の御礼として、皇居から摩文仁の丘の方を眺めた景であった。「激しい感動」であつたことは確かである。

和50（1975）年7月、
中縄の本土復帰の3年後で
あった。中縄国際海洋博覧
会に出展のためであった
が、蘭花のためまず糸満直
のひめゆりの塔を訪れた。
11日、ひめゆりの「ひめゆ
りの塔事件」と呼ばれる事件
が起った。

「な」として、死亡した自衛隊員の氏名を公表しなかった（ただし、月のくり事故では氏名公表）。

これから、報道機関の実名報道原則の主張を、社会全般としては必ずしも受け入れているとは言えない状況が明らかだ。一方で大規模災害においては、東日本大震災で明らかを通り、報道による安否確認が強く期待されている実態もあるわけで、あらためて問題の

事件・事故の被害者報道をめぐる議論が続いている。16年7月の神奈川・津久井やまゆり事件、17年7月の九州北部豪雨、同年10月の神奈川・座間の一遺体事件において、当事者の要請を受ける形で自治体や警察当局が被害者の氏名を公表しないケースが続いているからだ。直近では、18年1月の日根山噴火でも当初、防衛省・群馬県・県警とも「遺族の一解が得られてい

×157 盤結

太健

古くて新しい問題
事件・事故報道における
氏名の扱いが報道課題としてクローズアップされたのは1980年代半ば以降だ。それ以前にも、紙上裁判として、研究者や一部注書関係者では議論されてきたものの、扱う報道機関がおおむね新聞社に限定され

2003年の個人情報保護法や05年の犯罪被害者等
基本計画の影響が一般に言
われるが、インターネット
の普及により、ネットバン
キングが身近な問題として認
識されるものになったこと
や、いったん公表された個
人情報が無限定に拡散する
こと、被害者がより拡大、
深刻化する状況が生まれ

被害者の実名報道

公表の目安策定を

判断主体あこまじ、混乱

していただから、社会全体
 の問題には成り得ていなか
 った。しかし、写真週刊誌
 の登場やテレビのニュース、
 モーの開始などによって、まづ
 て、深刻な人権侵害の事例
 として、報道被害が認識さ
 れるようになった。
 当初は、主として被侵害者
 の取材・報道対応が問題と
 されていた。一方で、冒頭
 に挙げた事例のように、昨
 今では被害者の取材・報道が
 問題とされるケースが増え
 ている（13年2月の日本

なることもある。こうしたなかで、被選挙の匿名発議が一般化している状況があり、従来の報道機関の主張はもはや力を持たせていないのが現実だ。白根山事故にあたって陸自が発議した資料によると、過去10年間の公務中の事故死し者のうち、匿名公表は3件にすぎないという。

行個法の弊害

匿名発議を誘引している一つの理由として、行政機

から一部で問題視されて
いた。そして実際に旧法
施行後には、「過剰反応」
と呼ばれる言ひからの非公
表事例が相次ぐことになっ
た。

行政が保有する個人情報
は一般に、本人と公的機関
の二者しかもつていないも
のど、氏名や顔写真のよう
に緩やかな制限のもので、
一定程度幅広く社会に共有
しているものがある。さら
に、政治家の資産のよつに
法的に公開が義務付けられ

ではなく、明文上の規定として先述の例外規定に、報道機関への提供を不許することが考えられてよかった。

防災計画の影響

もう一つは、災害対策基本法に基づき策定されている、政府の「防災基本計画」の影響だ。当初の段階で、災害時の被害者情報は消防庁（国）に集約し、公表することなどを決め、実効性のなさに現場からも非難の声があった。東日本大

体であり、その公表の是非を求められると、責任回避で匿名な匿名記者に落ち着きがちなのは俗言に押像がつく。

個人の匿名記者問題に関しては、報道機関と関係機関の間で、あらかじめ一つの目安を策定することが混乱を招かない道ではないか。抽象的な匿名報道の主張ではない、当局との間の実務的なマニュアルがあれば、知る権利の保障や、市民社会における過剰な匿名

の意図を反映させるための
制度を全国整備する。

被害者実名報道の問題
は、事件・事故報道に限ら
ず、現行の報道原則に大ま
な影響を与えるといふかに
行政機関とメディアの関係
を推し量る重要な課題であ
つておろそかにできません。

(専修大学教授・言語学)

(第21曜口頭裁)

◇ ◇

本欄の過去記事は、本紙
ウェブサイトで読むことが
できます。

本欄の過去記事は、本紙
のホームページに掲載してある
に注意せよ。

日本社会文学会
11月に沖縄大会

迎野古以下一考

日本社会文学会（小森陽
二代美理事）が11月に秋
人会を沖縄国際大学で開
催する。「沖縄現代文学」
フォーラムに豊崎在生作家によ

琉球新報社を訪れ報告した
＝写真。

同学会の沖縄大会は「占

「領土文庫」をテーマにした



疏大美術專修

你心裡

1999年、山崎は100年を記念した3年以來、澤田教授に關心を持ち、相手が多い。特に刃野古に強い關心を持って、と説明した。大会に刃野古が来るといふことが行なう。

来で。母親は、
護国や民生寮を
再開した。

圖九十九
 州州州州州州
 州州州州州州

九十三世米入
興のちねたふ世

人は未知なる
悲喜細々の歴史
それでも明るく
明日へと歩みつ

何處に何人かの
件由の披露に鑑
て隊を支配し
て隊に隊を以て

殘響が執拗に
うねるかに響け
たゞに響け

夜のひび

疏